

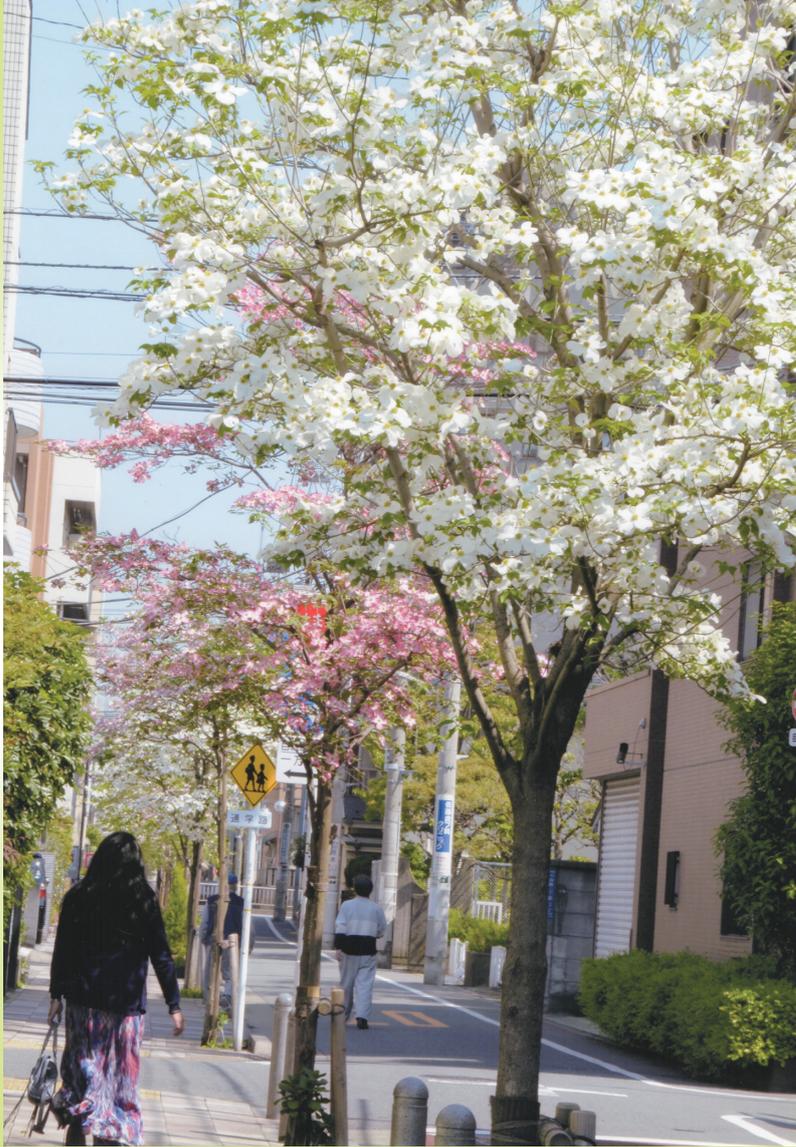
おいでよ

# こらぼ

平成30年

# 春

教室・講座、やりたいことを実現！



特集 道が見つないできた歴史“オニタビ通り名称の由来と拡幅工事レポート” 2-3p

地域力ここにありーわがまち大森三輪町会の町会活動ー 4p

地域で進む連携と協働ーおおた三角ベースボールフェスタ2018ー 5p

こらぼ大森を使ってみました！ 6p

第4回「こらぼdeアート」の開催報告 7p

地域のイベントご案内 8p

# 特集

## 道がっないできた歴史

### ～オニタビ通り 名称の由来と拡幅工事レポート～

こらぼ大森来訪の折に「東邦医大通り」をご利用の方も多いかと思います。

蒲田と大森をつなぐ重要な動線ですが、一部地元の人には「オニタビ通り」と呼ばれています。

本号では、オニタビ通りの由来と現在進行している拡幅工事についてレポートします。

#### ■ オニタビ通りの由来

オニタビ通りの名前は、すばり「鬼(おに)足袋(たび)」工場に由来します。足袋それ自体は明治以降、足の保温効果や利便性、またはファッションの観点から一般庶民へ広く浸透していました。

とりわけ、明治30年代に保温効果が高い“縦うね”のパイル織物のコーデュロイ（コール天）の国産化がさらなる普及につながりました。その生地を用いた「コール天の鬼足袋」は丈夫で温かい画期的な新素材の商品として日本中から支持を得て、明治後半から大正、昭和初期にかけて一世を風靡しました。



鬼足袋は、全国でも数百ある大小の足袋メーカーの中でも国内トップレベルのシェアを誇り、「西の福助、東のオニタビ」と称されるほどで、その大規模工場が、大正8年から現在の大森第八中学校のある敷地で稼働していました。その鬼足袋製造工場の前を走る道路がいつしか「オニタビ通り」と呼ばれるようになっていったのでした。

その後、昭和20年の戦災で工場は焼失し、既に70年以上近く経ちます。こらぼ大森周辺の方でも工場のことを直接知る人には巡り会えませんでした。

記事作成にあたり「地域研究・鬼足袋通りを行く」※（発行：広瀬達志氏）を参考にさせていただきました。

※大田区内の図書館で貸出ししています。



## ■ オニタビ通り拡幅工事進行中

現在、オニタビ通りでは道路拡幅工事が行われています。道路幅が20mとなり、電柱も地下化されることで、歩道、車道ともにゆとりが生まれます。現在、環七から東武ストア前、大森西四丁目バス停から多摩堤通りまではすでに完成しています。

同じような整備が大森第八中学校前などでも行われます。道路一帯の整備の完了までにはもう少し時間がかかります。今のところ、平成31年度末までの完了予定ですが、今後、工事の進捗で時期が延びる可能性もあります。

この道路拡幅事業は東京都が実施しておりますが、大田区としても、仲池上や東糀谷などで同様の事業を実施しています。また、第一京浜や産業道路などの主要な道路でも拡幅が行われています。これらは「都市活力の強化」「都市防災の強化」「安全で快適な都市空間の創出」「都市環境の向上」を目標として、道路整備をする事業の一つです。

東京都、特別区、多摩部などの26の市、2つの町でも様々な箇所でも道路を整備しているものです。その整備の根幹となるものが、東



京都市計画です。道路以外にも下水道や大田市場なども計画に含まれます。記憶に新しいものでは、京急の高架化も計画に基づき実施されたものです。東京都市計画は都市づくりの考え方を示してします。

さて、オニタビ通りは都市計画の視点でいうと東京都市計画道路補助線街路第27号線という名称で呼ばれています。この路線は品川区の大井町駅前にある「きゅりあん」付近を起点として環八の蒲田郵便局までが計画されています。ちなみに、補助線という名称は幹線を補助するという意味で、幹線とは都市と都市を結ぶ路線という意味合いがあります。オニタビ通りでいえば、環七、環八、第一京浜などを意味します。

現在、大森第八中学校前の富士見橋架け替えに向け、内川の歩道が移設されました。これからも様々な工事が実施されます。今後も、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

(大田区 地域基盤整備第一課 武藤課長よりお話を伺いました)



## わがまち 大森三輪町会の町会活動

大森三輪町会での年間通じて一番大きなイベントは、10月に開催する敬老文化祭です。毎年、400人近い方の参加をいただいています。昨年は選挙の投票日と重なり、あいにく中止となりましたが、大森第三小学校の体育館での開催は平成15年から続いています。小学校の吹奏楽部や地域の和太鼓サークルなど、青少年や保護者も多数参加してくれています。また、地区割りされた3つの各高年クラブなどから、フラダンス、詩吟、民舞、合唱など多才な演目の披露もあります。以前は地元の商店より広告費をいただいていた運営をしてまいりましたが、執行部でよく話し合った結果、近年はコンパクトな予算で行うようにしています。司会を役員が務めたり、プログラムも自前で印刷するなど経費節減にも努めています。対象となる70歳以上の方には贈答品を用意していますが、私たちの町会もここ数年で対象の人数がますます増えていることを実感しています。

### 大森三輪町会 会長 大杉 正美

7月の盆踊り大会も参加者が多いイベントです。東日本大震災を経た節電をきっかけに、二夜から一夜の開催とさせていただいていますが、毎年350名ほど参加いただいています。近隣の高齢者施設からはマイクロバスのピストン送迎で、多くの年配者にも参加いただいています。近隣町会の婦人部にも協力いただく踊り手さんたちと体が元気な施設利用者は、踊りを楽しんでいただいています。車いすをご利用の方には特別席を用意しています。また、子どもたちも200人ほど参加がありますが、おもちゃをプレゼントするなどして、いろいろな世代の人に楽しんでいただけるようにしています。



大森第三小学校の校庭で実施する夏のラジオ体操は、3週間とほかの地区よりも長い期間行っています。他の地区からも子どもたちが参加するので、お土産の準備は役員みんなで頑張っています。これからもいろいろな世代の人たちの地域の親睦を深める町会活動をしていきたいと思っています。

# 地域ですすむ 連携と協働

## おおた三角ベースボールフェスタ 2018

メイジャマクレ大田運営委員会  
三角ベース普及担当  
井上修二

メイジャマクレ（ハワイ語で偉大なる高齢者）は、「健康」「生きがい」「仲間づくり」を合言葉にして、高齢者でも安心して楽しめる「健康スローピッチソフトボール」に取り組んでいます。メンバーは60歳以上の男性が中心で、少年時代の憧れであったユニホームや野球用具を自前の物を用意し、こらぼ大森をはじめ区内の施設で練習をしたり、地方に遠征試合に行くなどして親睦を図っています。



今年は「おおた三角ベースボールフェスタ2018」と題して、2月17日に羽田のヤマトフォーラムで大会を開催しました。ゲストにOB野球選手の高橋直樹さんと千藤三喜男さんをお招きして、ケガをしない投げ方などレクチャーもいただきました。また、大田区コーディネータ養成講座の受講者にも、広報や当日の運営補助でご協力いただきました。他の団体との連携を通じて、活動の広がりを感じています。今後も児童館をはじめ、活動の場を作っていけるように信頼を積み重ねて事業に取り組みたいと思います。

数年前から取り組みに関連して、親子キャッチボールを通じた家族の絆を高める社会貢献活動をしたと考え、区内で三角ベースボールの啓発事業を行っています。世代を越えて、また障害をお持ちの人にも参加していただけるゲームと好評をいただいています。投手は打者と同じチームメイトが務めるので、打ちやすい球を投げるのがポイントとなります。練習に取り入れている、素手でボールを投げてつかむ野球ごっこ遊びと同様、コミュニケーションを育むうえで今の時代に大事な遊びだと思えます。また、孫世代の子どもたちとも三世代で交流が図れ、核家族化が進んだ時代には貴重な場となっているようです。



# こらぼ大森を使ってみました!

開桜 FC は、こらぼ大森の開設以来、拠点のひとつとして長らくご利用いただいています。今回は、開桜 FC の活動紹介を通じて、こらぼ大森の利用方法についてお伝えいたします。

開桜 FC は、クラブメンバー 90 人近くを誇る小学生のサッカークラブです。開桜小学校の在校生が多いですが、他の近隣小学校に通うメンバーもいます。こらぼ大森では、体育館とグラウンドを練習で利用しています。低学年のメンバーは体育館を使うことが多いそうです。学年があがるにつれて、グラウンドを利用して練習メニューもハードになります。

コーチは、保護者のパパたちも含む 20 名ほどの体制です。活動の金曜日は仕事を早く切り上げ、指導に当たります。



取材の折には、保護者の皆さんがワーキングルームで会報の印刷をしていました。主役の子どもたちはもちろん、保護者の皆さんにもこのような形でこらぼ大森をご利用いただいています。いつもありがとうございます。クラブを卒業した小学校 6 年生のメンバーの多くは、中学校の部活やまた別のクラブチームに参加して、引き続きサッカーを楽しむそうです。4 月からも頑張ってください!

■グラウンド：区内の公共施設でも珍しい天然芝生です。

■体育館：卓球台やバスケットボール等の様々なスポーツにもご利用いただいています。

※上記、ともにご利用の際は、利用登録と所定の利用料が必要となります。

■ワーキングルーム：リソグラフ印刷（原版1枚30円 / 印刷10枚10円）や紙折り機があります。

詳しくはこらぼ大森（電話 03 - 5753 - 6616）まで直接お問合せ下さい。

# こらぼ大森活動の報告

アートでつながる 第4回「こらぼdeアート」開催しました  
(3/15～17)

こらぼ大森では、様々な団体やグループが地域の皆様と一緒に絵手紙や折り紙、イラスト等創作活動の場としてもご利用いただいております。

今回は、9団体と9名の方がコラージュやアートフラワー、絵画や工作・手芸作品等、様々な作品を出展して下さいました。指先程の小さなものから大きなものまで、どれも制作された方の心がこもった力作ばかりでした。

また、最終日には「子どもワークショップ 作りながら〈ふしぎ探検〉」を開催し、親子で身近にある材料でホバークラフトを作り空気の力や運動について学びました。期間中は地域の皆様をはじめ、多くの方にご来場いただきました。ありがとうございました。

これからもこらぼ大森では、地域の皆様区民の皆様の様々な活動の発表の場を設け、交流や連携の機会を作っていきたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

こらぼ大森 情報交流室 I



# 地域のイベントご案内

## みどりのカーテン講習会 2018 クーラー使用量節約&もぎたてのゴーヤで夏バテ予防!

- 日時 5月20日(日)10:30~11:30
- 場所 こらぼ大森 多目的室 参加費無料
- 対象 どなたでも、親子歓迎(小学生は保護者同伴)
- 持ち物 筆記用具、手提げ袋
- 参加特典 ゴーヤの苗を差し上げます
- 内容 植え方の実演・専門家からのアドバイス。  
★大きなゴーヤの実がたくさんとれる方法  
★葉がたくさん出る工夫など
- 定員 30組(申込み・先着順・残席あれば当日可)
- 申し込み 氏名・連絡先(電話・メールアドレスなど)を  
明記のうえ下記まで、ご連絡ください。  
TEL/FAX:03-5753-6560  
E-mail:cbc10286@nifty.com
- 主催 こらぼ大森情報交流室!
- 共催 NPO法人東京城南環境カウンセラー協議会



## こらぼ大森会食会 奇数月の第1土曜日に定期開催

- 日時 5月5日(土) 13:00~
- 会場 こらぼ大森 軽食コーナー
- 対象 主に高齢者
- 参加費 500円
- 主催 食事サービス連絡会
- 電話 03-3742-5507



## 第11回おおたユニバーサル駅伝大会 ~違いを知って共に支え合う心地よさを、体験しましょう~

- 日時 6月3日(日)10:45~(開会式) 11:10~(競技スタート)
- 会場 平和の森公園 周辺コース(集合:平和の森広場)
- 内容 違いを認めあつて、支え合うことの楽しさを体験するユニバーサルスポーツです。  
さまざまな選手5人のユニバーサルチームを事務局が編成し、そこに中高生3人の伴走  
サポーターと学生2人のチームリーダーが加わり、10人が協力し合い、約1kmをそれぞれ  
ランやウォークでタスキをつなぎます。
- 参加費 1,000円(昼食、飲み物、お土産付き) ※高校生以下無料
- 主催 NPO法人ジャパンユニバーサルスポーツ・ネットワーク(通称:JUSN)  
おおたユニバーサル駅伝大会実行委員会
- 共催 大田区、社会福祉法人大田区社会福祉協議会、  
学校法人後藤学園東京衛生専門学校、NPO法人おおた市民活動推進機構
- 申し込み 電話:03-5753-3860 / FAX:03-5753-3861 / E-mail:info@jusn.org (主催事務局)



### MAP



### 編集部より

季刊誌「おいでよこらぼ」をご覧いただき誠にありがとうございます。本誌についてご意見・ご感想を下記のFAX又はメールでお寄せ下さい。

- ①お住いの地域(大森等)、②性別、③年代(50代等)をお書きください。

あて先:こらぼ大森情報交流室!

- ・FAX 03-5753-6560
- ・メールアドレス cbc10286@nifty.com



発行者 齋藤十四男

発行日:2018年4月1日

大田区区民活動支援施設大森 こらぼ大森

住所:〒143-0015 大田区大森西2-16-2

電話:03-5753-6616

URL: <http://collabo-ohmori.com/>



QRコード